

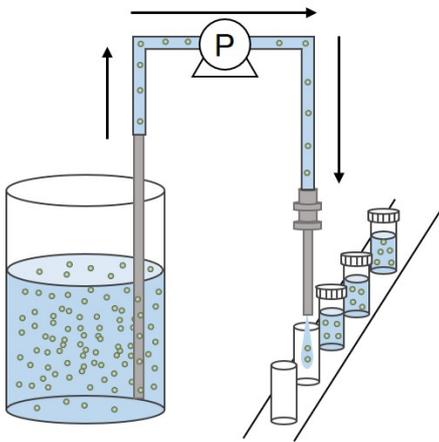
# 塑性流体を活用した 細胞分注技術の開発

福守一浩<sup>1</sup>, 紀ノ岡 正博<sup>1, 2</sup>

1 大阪大学大学院 工学研究科 生物工学専攻  
2 大阪大学大学院 工学研究科 テクノアリーナ  
細胞製造コトづくり拠点 (拠点長)

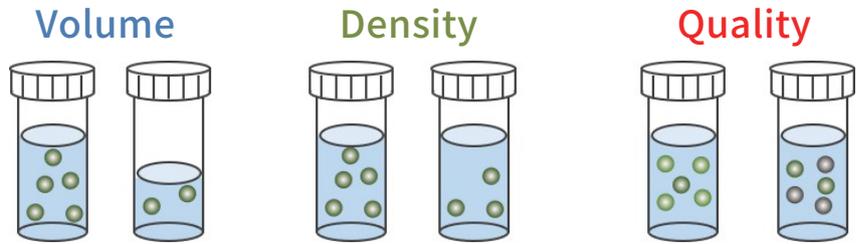
## 技術概要

塑性流体を活用し、細胞懸濁液を均一分注する技術 (特許第 6854553 号)



リザーバー

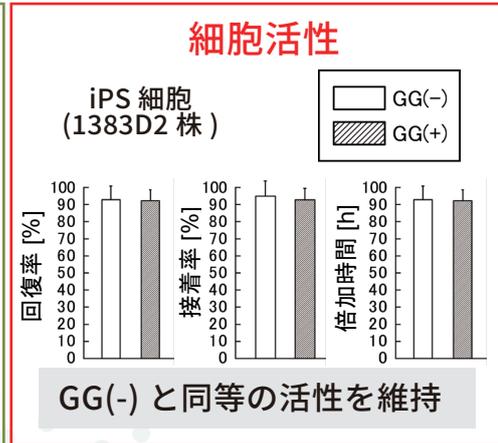
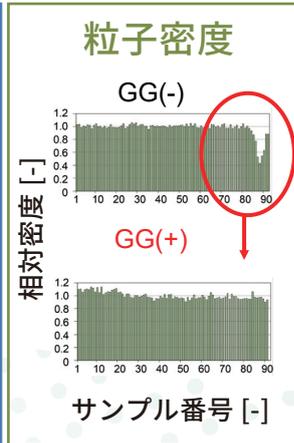
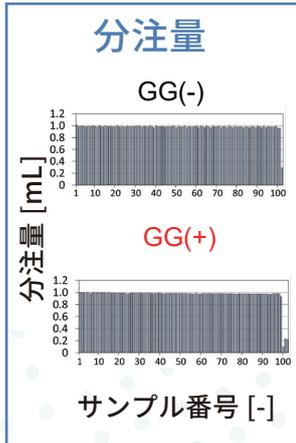
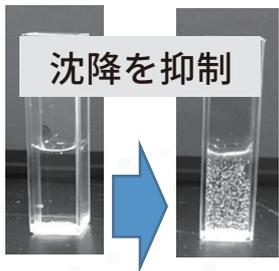
大スケール製造時の問題点：粒子の不均一性



特に細胞の様な生きている粒子を含む製品においては、長時間懸濁における力学的ストレスの低減が重要

均一化操作が不要に！

塑性流体  
(Gellan Gum: GG)



細胞バンクなど大スケールの製造において、細胞を均一に、力学的ストレスの少ない環境で分注できる技術です。  
共同開発をご希望の方は、是非ご連絡をお願い致します。

お問い合わせ

大阪大学大学院 工学研究科 生物工学専攻 紀ノ岡研究室

06-6879-7444 kino-oka@bio.eng.osaka-u.ac.jp